

防衛省 A I 活用推進基本方針

- 令和6年7月、防衛省として初めて、A I 活用推進の羅針盤となる基本方針を策定
- 基本方針は、第1部「基本方針策定の背景と目的」、第2部「A I の活用分野と方向性」、第3部「A I 活用推進に向けた取組」から構成
- 国内・国外で行われている最新の議論を参考に、A I の活用分野、A I の利用に伴うリスクへの対応、データ基盤の構築、A I ・データ人材の確保・育成、研究開発など、幅広い事柄について防衛省の考え方を示すもの

第1部

Ends

策定の背景

A I は、科学技術の急速な進展による安全保障の在り方の根本的な変化や、人口減少と少子高齢化という、我が国が直面する課題を克服する技術の一つとなる可能性

策定の目的

- 防衛省内で A I を活用する取組の戦略性や一貫性を担保
- データや人材という資源について、組織の垣根を越えて共通化
- 国民の理解を背景とする行政や、他国との協力・連携を推進
- 部外の企業や研究機関等との円滑な協力関係を構築

第2部

Ways

A I の機能と限界

A I の活用にあたっては、まずは人間が具体的な課題を特定し、その課題克服のために A I を役立てることができるか検討するというプロセスが重要

- 以下の7分野で重点的に A I を活用

- ① 目標の探知・識別
- ② 情報の収集・分析
- ③ 指揮統制
- ④ 後方支援業務
- ⑤ 無人アセット
- ⑥ サイバーセキュリティ
- ⑦ 事務処理作業の効率化

- ただし、A I の活用を上記7分野に限定する趣旨ではなく、まずは試行してみることも重要

- A I が行うのは人間の判断のサポートであって、その活用にあたっては人間の関与を確保

活用分野

リスクへの対応

「A I 事業者ガイドライン」で示されている、人間中心、安全性、公平性等の考え方を参考としつつ、国際社会での議論にも注意を払い、A I がもたらすリスクの低減に取り組む

第3部

Means

■ データ基盤の構築

- 「データが任務遂行に不可欠な戦略アセットである」との意識を涵養
- 共有が必要なデータを特定し、データフォーマットを標準化

■ A I ・データ人材

- A I 関連業務を隊員のみで処理するのは非現実的、民間の A I ・データ人材に積極的にアプローチ
- 内部育成の面では、人材ニーズに適した A I 講座の受講を促進

■ 研究開発

- 国際的な議論の文脈で表明している一連のコミットメントの具体化に向け、ガイドラインを策定

■ 教育・研究機関との協力関係を拡大・深化

■ 各国との協力・連携を推進

■ A I 軍備管理・A I 倫理

- 国際的な議論に積極的かつ建設的に貢献

■ 他の先端技術と生成 A I

- A I を支えるインフラとなる可能性のある先端技術について、必要に応じ導入を検討
- 生成 A I については、できる限りリスクを低減することを重視しつつ、導入に取り組む